

地域での防災対策

自主防災組織とは

大地震が発生した場合、市や消防機関、警察機関は、総力を挙げて防災活動を行いますが、さまざまな悪条件が重なり、防災関係機関の活動能力は著しく低下することが予想されます。このような大規模災害が発生したとき、被害をできるだけ少なくするためには、住民の自主的な防災活動により被害の防止または軽減を図ることが重要です。災害に対して地域住民一人ひとりが、組織的に行動し、自分たちのまちは自分たちで守るという意識を持って行う共助の活動が自主防災組織です。

自主防災組織とは、行政区などの単位で結成され、地域のみなさんが連携して自主的に防災活動を行う団体のことをいいます。災害による被害を最小限におさえるためには、「自分たちの地域は自分たちで守る」という考え方が重要となります。

平常時

災害に備えるために、日頃から地域のみなさんに、防災知識・防災活動の必要性を理解してもらう活動を行います。

- 1 防災知識の普及と啓発
地域住民に防災知識を広め、関心を持ってもらいます。
- 2 地域内の安全点検
地域内の危険箇所や問題点を確認し改善します。
- 3 防災訓練
災害に備え、消防署などの指導のもと訓練を行います。

災害時

人命を守り被害の拡大を防ぐために、地域のみなさんが協力して、火災の初期消火や負傷者等の救出・救護などを行います。

- 1 初期消火…消防機関と協力し、初期消火活動を行います。
- 2 救出・救助…負傷者などの救出・救助や、応急手当を行います。
- 3 情報の収集と伝達…防災関係機関と連絡を取り、情報を住民に伝達します。
- 4 避難誘導…避難経路の安全を確認し、住民を避難所へ誘導します。
- 5 避難所の管理と運営…避難所での食糧物資の調達と配分、給水活動を行います。

避難行動要支援者への協力

要配慮者(高齢者・障がい者・妊産婦・乳幼児・傷病者・日本語が不自由な外国人等)のうち、特に災害時の避難に支援を要する方は、避難行動や言葉の理解などで大きなハンデを負うことになります。地域のみなさんは日頃からコミュニケーションをとりあって、災害時には相手に適した誘導方法で早めの避難ができるように協力しましょう。

高齢者・妊産婦・乳幼児・傷病者・日本語が不自由な外国人の方には

高齢者、妊産婦、乳幼児は、手をつなく、または背負うなどによりしっかり支援します。傷病者には複数の方で対応しましょう。急を要するときはひも等を使って背負い、安全な場所へ避難しましょう。外国人の方で言葉が通じない場合には、声をかけて身振り手振りを交えて誘導します。



目の不自由な人には

まず、「お手伝いしましょうか」などと声をかけましょう。話しかける相手の声が頼りなので、話すときは、はっきりゆっくり、大きな声で話しましょう。誘導するときは、目の不自由な人の前に立ち、ひじの上を軽くつかんでもらい、半歩前くらいをゆっくり歩きましょう。



車椅子を利用する人には

車椅子を利用する人の場合は、必ず3人で協力し、階段を上がるときは前向きに、下がる時は後ろ向きにして、恐怖感を与えないように配慮しましょう。



耳の不自由な人には

話すときは、近くまで寄って相手にまっすぐ顔を向け、口を大きくはっきり動かしましょう。口頭でわからないようであれば、紙とペンで筆談しましょう。紙やペンがなければ、相手の手のひらに字を書いて筆談しましょう。



※要配慮者利用施設については、市ホームページ久喜市地域防災計画資料編「浸水想定区域内における要配慮者利用施設一覧表」で確認できます。

要支援者見守り支援事業

久喜市では、高齢者や障がい者など、災害時に自力での避難が困難な「避難行動要支援者」に対して、日頃からの見守りや、災害時における地域の支援体制づくりを進めています。避難行動要支援者として支援を受けるためには、あらかじめ登録が必要ですので、お問い合わせください。

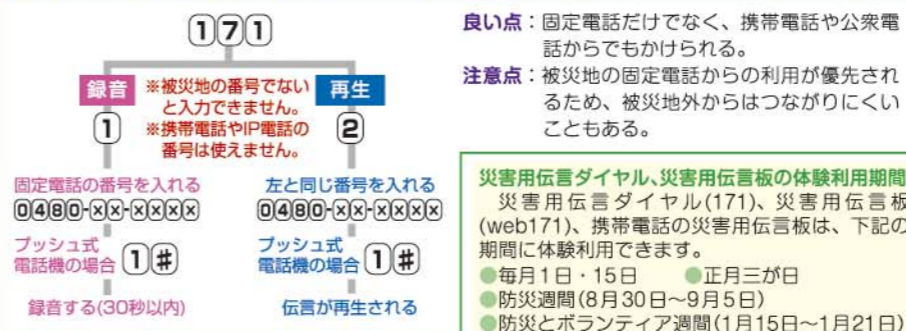
【問い合わせ先】 社会福祉課 電話 22-1111
菖蒲総合支所福祉課 電話 85-1111
栗橋総合支所福祉課 電話 53-1111
鷲宮総合支所福祉課 電話 58-1111

災害時の連絡方法

地震などの大災害が発生すると固定電話・携帯電話は災害地への電話が繋がりにくくなります。災害時は、171の伝言ダイヤルや携帯電話の災害用伝言板、公衆電話が有効な通信手段です。

音声での連絡方法

災害用伝言ダイヤル(171)



公衆電話

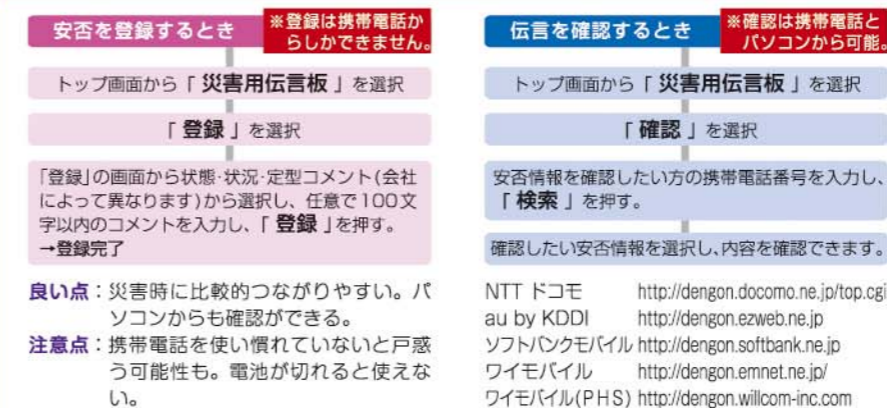
災害時、公衆電話は一般回線より優先的に回線が確保されます。また、災害時には被災地の公衆電話は無料で使える場合があります(国際電話は使えません)。

良い点: 固定電話や携帯電話がつかないときの連絡手段として使用できる。

注意点: 近年、公衆電話の数が減っている。災害時は利用者が殺到する。

文字での連絡方法

携帯電話のサービス 災害用伝言板



携帯電話のメール

携帯電話は通話よりもメールが有効です。災害時は相手に届くまでに時間がかかる場合があります。

良い点: 通話よりはバッテリーの消費が少ない。

注意点: 災害時にはメールが届くのが遅れる場合がある。

パソコンのEメール

東日本大震災では、電話が使えない状況の中でも、パソコン(インターネット)を使ったEメールは比較的届きやすかったと言われています。

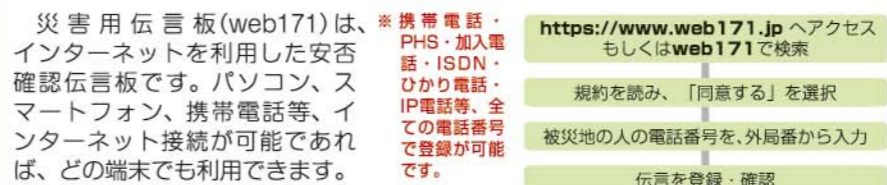
良い点: インターネット回線が無事ならば比較的連絡を取りやすい。

注意点: 停電時にはパソコンが使えない場合がある。

遠隔地に連絡中継点をつくる

災害時であっても、被災地から被災地以外の場所への電話は比較的つながりやすいと考えられます。遠隔地の親せきや友人などを経由して情報交換ができるように連絡中継点を決めておきましょう。

災害用伝言板(web171)



「エリアメール」・「緊急速報メール」の配信

NTTドコモが提供する「エリアメール」サービスと、auおよびソフトバンクが提供する「緊急速報メール」サービスを活用し、災害・避難情報の配信を行っています。

- 情報発信時に市内にいて受信が可能です。
- 通常のメールサービスとは異なり、災害時でも一斉配信が可能です。
- メールアドレスの登録が不要です。
- 緊急速報メールを受信すると専用着信音が鳴り、情報が画面上に表示されます。

配信内容…避難準備情報、避難勧告・指示、警戒区域情報、噴火警報(レベル3未満の火口周辺警報を除く)、指定河川洪水警報(氾濫注意情報を除く)、弾道ミサイル情報、東海地震予知情報、航空攻撃情報、ゲリラ・特殊部隊攻撃情報、大規模テロ情報

利用方法

エリアメール・緊急速報メールを受信するためには、携帯電話の受信設定をする必要があります。なお、機種によっては対応していないものや、一部の機能が利用できないものがあります。詳しくは各携帯電話会社のホームページをご覧ください。

株式会社NTTドコモ 緊急情報「エリアメール」
<http://www.nttdocomo.co.jp/service/safety/areamail/>
KDDI株式会社(au) 緊急速報メール
<http://www.au.kddi.com/mobile/anti-disaster/kinkyu-sokuho/>
ソフトバンクモバイル株式会社 緊急速報メール
http://www.softbank.jp/mobile/service/urgent_news/